

[illegible][illegible][illegible]

効外やつれきらさ効定す
無め所者あら如め為無規関選
を認票理でせの認をがのに職あ
挙を投管の行張は票挙条行公は
選れ、票い執主実投選五執はで
件こず、投多に告事らて○理為の
本部さ、が時原のがし二管行も
が全為は例同、等な而第のる
告はをて事とず失り。法挙人す
原実票いる挙ら紛取る挙選挙反
、事投おじ選拘難受あ選は選違
てるらに生員に盗をで職となに
としたが場合の委たで紙の公るう定
と因な場票会居ま用いはすよ規
弁原りの欠員てる票なと反かの規
答求取挙な委し至投はこ違、条
めの請受選う育をにが外のろ二
求張紙の時よ教視票人のあ定こ四
を主張同か市監視開挙るで規と第
を主用にても分後選舉の場合のび
決告票殊も、も十了、認め場あ及
判原告投、ていが終はと認場あ及
のの外で、居お員票のした選で七
旨争票こして係投票の反ゆべ三
同争票をし挙て、票のた違わす第
是間を投るを選いて、票じにい解令
際と分があ視員おつ一生定にと行
主部人々監議にあ二一生定にと行
人は選挙往な会所で右めに規右合施
ん人す選は分議票の局た挙でる同
代理張らと十市投も結が選かすは
代主がこ坊各た、つた、ら反又
訴訟てなす人御上生か帰のてに六
被告とし出會件上生か帰のてに六
なる被り。持票、関係がない持るつてに六

が、投票管理者及び投票立会人により相当の監視がなされて居る以上、これを以て選挙の規定に違反するものと謂い得ない。又本件については原告が第二に示すような不正事実は何等認められず、その他欠票の結果選挙の公正を害するものとは認めざるを得ない。なお原告が二一票の欠票により下位当選者と上位落選者各六名に異動を生じ得ると主張するが、右二一票は投票せられて居ない以上、これを潜在的有効投票と認めるわけにはいかないから、かかる問題の生じる余地はないのみならず、個々の投票の効力や個々の候補者の得票数に異動を及ぼすか否かの算定問題は当選の効力に関すること選挙の効力に関する問題ではなく、原告の本訴請求はいずれの理由から失当である。と述べた。

理由

原告が昭和三〇年一月二六日施行せられた和歌山県御坊市議会議員選挙の選挙人であること、右選挙において投票者総数一六九二二人のところ、投票総数は一六九〇一票で欠票が二一票あつたこと、右のような欠票の出来た理由は、選挙人が投票所で投票用紙を受取りながら投票をなさずに持ち帰つたが為めと認められること、同年二月七日右選挙の落選候補者二七名から御坊市選挙管理委員会へ選挙の効力に異議の申立をしたに対し、同委員会は同年三月八日異議却下決定を為し、原告はこれを不当として同月二二日被告委員会へ訴願を提起したが被告委員会は同年五月一九日訴願棄却の裁決を為し、右裁決書は同月二一日原告に送達せられたことはいずれも当事者間に争のないところであつて、原告は右欠票の存在は本件選挙を無効ならしめるものと主張する。

思うに、選挙を無効とすべき場合は、選挙が選挙の規定に違反して行われ且これにより選挙の結果に異動を及ぼす虞のある場合に限ることは公職選挙法第二〇五条第一項の規定によつて明らかであつて、右にいわゆる選挙の規定に違反するとは、選挙の管理執行に関する規定に違反する場合の外、例えば官憲その他による甚だしき弾圧、干渉、妨害、又は広範囲に亘る買収誘惑等のため到底選挙法の理念とする自由、公正な投票が期待しがたいような事由のある場合を指称するもので、候補者、選挙運動者又は選挙人等に選挙法の取締規定に違反するところがあつても、かかる事由は右にいわゆる選挙の規定に違反する場合に該当しないものと解するの〈要旨〉を相当とするところ、本件において選挙人が投票所で投票用紙を受取りながら投票を為さずにこれを持ち帰るが〈要旨〉ごときは公職選挙法第四六条、同法施行令第三七条第四二条の規定に違反することは勿論であるが、右投票用紙の持出が選挙管理者の管理執行上の手落しに基き若しくは管理者との通謀にもとづく等選挙管理者の違反を伴うものと認められない以上、これをもつて選挙の管理執行に関する規定に違反したものと謂い難いのみならず、原告が想定するごとく選挙人が申合せて投票用紙を持ち帰り、投票所外で特定の候補者名を記載しこれを他の者に投票せしめる方法を順次繰返したものと認めるべき何等の証拠もないのであるから、前示二一票の欠票によつて選挙の自由公正を害したものと謂うに由なく、従つて単に欠票のあつることのみをもつて直ちに選挙の規定に違反するものとなす原告の所論は到底首肯することはできない、もしそれ選挙における欠票が投票者数に比して著しく多数であるような場合は、単なる選挙人の持ち帰りによるものでないのが普通であらうから、欠票の生じた理由乃至欠票に伴う不正事実の有無に問題があるのであつて、欠票の存することそれ自身はその数の多少に拘らず選挙の効力を左右するものではないと解しても少しも不都合は生じない。

以上のとおりで、本件選挙はこれを選挙の規定に違反したものと謂い得ないからこれを有効と認めてなした被告委員会の裁決、御坊市選挙委員会の異議却下決定は相当で原告の本訴請求は爾余の判断を俟つまでもなくこれを棄却すべきものとし、訴訟費用の負担について民事訴訟法第八九条を適用し主文のごとく判決する。

(裁判長判事 吉村正道 判事 大田外一 判事 金田宇佐夫)